

# 上下小田原配水管布設工事(7-2工区)

## 数 量 計 算 書

甲州市上下水道課

配水管布設工

### 配水管延長集計表

※上段( )は変更後数量を表す

[illegible]

※上段( )は変更後数量を表す

	略 図 及 び 算 式	単位						切管調査	計 (少数第2位)	数 量 (少数第1位)
資材										
	ダクタイル鋳鉄管 直管 GX JDPAG 1049 内面粉体 φ150×5, 000L	本	51.0					10.0	61.00	61.0
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 GX JDPAG 1049 内面粉体 φ150×45°	ヶ	2.0						2.00	2.0
	ダクタイル鋳鉄管 両受曲管 GX JDPAG 1049 内面粉体 φ150×45°	ヶ	1.0						1.00	1.0
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 GX JDPAG 1049 内面粉体 φ150×22 1/2°	ヶ	7.0						7.00	7.0
	ダクタイル鋳鉄管 両受曲管 GX JDPAG 1049 内面粉体 φ150×22 1/2°	ヶ	8.0						8.00	8.0
	ダクタイル鋳鉄管 曲管 GX JDPAG 1049 内面粉体 φ150×5 5/8°	ヶ	4.0						4.00	4.0
	ダクタイル鋳鉄管 ライナ GX JDPAG 1049 φ150	組	23.0						23.00	23.0
	ダクタイル鋳鉄管 異形管接合材 GX JDPAG 1049 φ150	組	10.0						10.00	10.0
	ダクタイル鋳鉄管 G-Linkセット GX JDPAG 1049 φ150	組	21.0						21.00	21.0
	ダクタイル鋳鉄管 メカ管帽(DIP-K形) 特殊押輪付(10K) φ150	ヶ	1.0						1.00	1.0
	PCジョイント(DIP×HPPE) φ150	ヶ	1.0						1.00	1.0
	GX形ソフトシール仕切弁 両受 内外面粉体塗装 10.0K φ150	基	1.0						1.00	1.0
	仕切弁籠 φ150用 DP=0. 80m用	個	1.0						1.00	1.0
	水道配水用ポリエチレン管 EF受口付(片受)直管 HPPE JWWA-K144 φ75×5, 000L	本	22.0						22.00	22.0
	水道配水用ポリエチレン管 直管 HPPE JWWA-K144 プレーンエンド φ75×5, 000L	本	7.0						7.00	7.0
	水道配水用ポリエチレン管 EFソケット HPPE JWWA-K145 φ75	ヶ	15.0						15.00	15.0
	水道配水用ポリエチレン管 EFチーズ HPPE PTC K13 φ75×φ75	ヶ	2.0						2.00	2.0
	水道配水用ポリエチレン管 EF両受バンド HPPE PTC K13 φ75×45°	ヶ	5.0						5.00	5.0
	水道配水用ポリエチレン管 EF片受バンド HPPE PTC K13 φ75×45°	ヶ	3.0						3.00	3.0
	水道配水用ポリエチレン管 EF両受バンド HPPE PTC K13 φ75×22 1/2°	ヶ	2.0						2.00	2.0
	水道配水用ポリエチレン管 EF両受Sバンド HPPE PTC K13 φ75×H300	組	2.0						2.00	2.0
	水道配水用ポリエチレン管 キャップ HPPE JWWA-K145 φ75	ヶ	4.0						4.00	4.0

※ 上段( )は変更後数量を表す

[illegible]

# 切 管 調 書

※下段は設計時数量 上段は変更後数量

ダクタイル鋳鉄管 DIP-GX形							φ 150	×	5.00m
番号	甲切管	乙切管					使用長	残管長	切断工
1	4.550 ◇						4.550	0.450	1
2	3.570 ◇			◇ 0.870			4.440	0.560	2
3	3.080 ◇			◇ 1.000			4.080	0.920	2
4	1.550 ◇			◇ 1.500			3.050	1.950	2
5	3.550 ◇			◇ 1.170			4.720	0.280	2
6	2.320 ◇		◇ 0.770	◇ 1.170			4.260	0.740	3
7	2.570 ◇			◇ 0.950			3.520	1.480	2
8	0.890 ◇			◇ 2.870			3.760	1.240	2
9	2.870 ◇			◇ 0.840			3.710	1.290	2
10	1.270 ◇			◇ 2.910			4.180	0.820	2
凡例 ◇ 切断工									
計	変更後	切管の直管本数							
	変更前	切管の直管本数					N= 10 本	40.270	9.730 20

# 切 管 調 書

※下段は設計時数量 上段は変更後数量

配水用ポリエチレン管 HPPE							φ 75 × 5.00m		
番号	乙切管						使用長	残管長	切断工
1									
	1.650 ◇	◇ 0.520	◇ 0.500	◇ 0.930	◇ 1.000	.....	4.600	0.400	5
2									
	1.050 ◇	◇ 0.600	◇ 0.330	◇ 2.970	.....	.....	4.950	0.050	4
3									
	4.000 ◇	1.000	.....	.....	.....	.....	5.000		1
4									
	3.470 ◇	◇ 0.470	◇ 1.000	.....	.....	.....	4.940	0.060	3
5									
	1.000 ◇	◇ 1.000	◇ 1.000	.....	.....	.....	3.000	2.000	3
6									
	2.500 ◇	◇ 0.850	◇ 1.000	.....	.....	.....	4.350	0.650	3
7									
	3.220 ◇	◇ 0.330	.....	.....	.....	.....	3.550	1.450	2
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
凡例 ◇ 切断工									
計	変更後	切管の直管本数							
	変更前	切管の直管本数						N= 7 本	30.390 4.610 21

# 切 管 調 書

※下段は設計時数量 上段は変更後数量

配水用ポリエチレン管 HPPE							φ 50 × 5.00m		
番号	乙切管						使用長	残管長	切断工
1	1.000 ◇	◇ 1.000	.....	.....	.....	.....	2.000	3.000	2
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
	.....	.....	.....	.....	.....	.....			
凡例 ◇ 切断工									
計	変更後	切管の直管本数							
	変更前	切管の直管本数					N= 1 本	2.000	3.000 2



# 切 管 調 書

※下段は設計時数量 上段は変更後数量

水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP							φ 25 × 4.00m		
番号	乙 切 管						使用長	残管長	切断工
1									
	0.450 ◇	◇ 0.450	◇ 0.650	◇ 0.400	◇ 0.650	◇ 0.300	2.900	1.100	6
2									
	0.400 ◇	◇ 0.300	◇ 0.450	◇ 0.450	◇ 0.650	◇ 0.300	2.550	1.450	6
3									
	2.522 ◇						2.522	1.478	1
凡例 ◇ 切断工									
計	変更後	切管の直管本数							
	変更前	切管の直管本数					N= 3 本	7.972	4.028 13

※ 上段( )は変更後数量を表す

	略 図 及 び 算 式	単位					既設管	切管調書	計 (少数第2位)	数 量 (少数第1位)
労務										
	鋳鉄管布設工 吊り込み据付工 機械力 $\phi 150$	m							304.04	304.0
	GX形継手工 直管 $\phi 150$	口	51.0					10.0	61.0	61.0
	GX形継手工 異形管 $\phi 150$	口	10.0						10.0	10.0
	GLink継手工 $\phi 150$	口	21.0						21.0	21.0
	メカニカル継手工 K形 $\phi 150$	口	2.0						2.0	2.0
	メカニカル継手撤去工 K形 $\phi 150$	口					1.0		1.0	1.0
	鋳鉄管切断工 $\phi 150$	口						20.0	20.0	20.0
	ポリエチレンスリーブ被覆工 DIP用 $\phi 150$	m							304.04	304.0
	ポリエチレン管布設工 (融着接合・EF継手) $\phi 75$	m	151.1						151.05	151.1
	ポリエチレン管継手工 (融着接合・EF継手) $\phi 75$	口	47.0						47.00	47.0
	ポリエチレン管継手工 (融着接合・EF継手) $\phi 75$	箇所	17.0						17.00	17.0
	ポリエチレン管継手工 (メカニカル) $\phi 75$	口	1.0						1.00	1.0
	ポリエチレン管切断工 $\phi 75$	口	21.0						21.00	21.0
	ポリエチレン管布設工 (融着接合・EF継手) $\phi 50$	m	2.0						2.00	2.0
	ポリエチレン管継手工 (融着接合・EF継手) $\phi 50$	口	4.0						4.00	4.0
	ポリエチレン管伸縮可とう継手工 $\phi 50$	口	2.0						2.00	2.0
	ポリエチレン管切断工 $\phi 50$	口	2.0						2.00	2.0
	ポリエチレン管布設工 $\phi 40$	m	29.1						29.06	29.1
	ポリエチレン管継手工 $\phi 40$	口	2.0						2.00	2.0
	仕切弁設置工 $\phi 75$ 以下	基	8.0						8.00	8.0
	仕切弁設置工 $\phi 150$	基	1.0						1.00	1.0

※ 上段( )は変更後数量を表す

[illegible]

# 配水管土工延長集計表

※( )は変更後数量を表す

舗装種別							単位	延 長					
番号	舗装名	土被り	管種	口径	掘削幅			計					
1	アスファルト舗装道	DP=0.80m	DIP-GX	φ 150	0 .60m	変更後	m						
						変更前	m	169.60	75.55	94.05			
2	アスファルト舗装道	DP=0.90m	DIP-GX	φ 150	0 .60m	変更後	m						
						変更前	m	2.40	2.40				
3	アスファルト舗装道	DP=0.80m	HPPE	φ 75		変更後	m						
			DIP-GX	φ 150	0 .90m	変更前	m	128.22	61.20	67.02			
4	アスファルト舗装道	DP=1.30m	HPPE	φ 75		変更後	m						
			DIP-GX	φ 150	1 .20m	変更前	m	3.56	3.56				
5	アスファルト舗装道	DP=0.80m	HPPE	φ 75	0 .60m	変更後	m						
						変更前	m	17.14	1.00	8.75	4.36	3.03	
6	アスファルト舗装道	DP=1.10m	HPPE	φ 75	0 .60m	変更後	m						
						変更前	m	3.01	3.01				
7	アスファルト舗装道	DP=0.80m	HPPE	φ 50	0 .60m	変更後	m						
						変更前	m	2.68	2.68				
8	アスファルト舗装道	DP=0.80m	PE	φ 40	0 .60m	変更後	m						
						変更前	m	29.06	29.06				
9	アスファルト舗装道	DP=0.80m	HIVP-TS	φ 25	0 .60m	変更後	m						
						変更前	m	8.27	8.27				
						変更後	m						
						変更前	m						
						変更後	m						
						変更前	m						
						変更後	m						
						変更前	m						
						変更後	m						
						変更前	m						

## 配水管土工集計表

[illegible]

※( )は変更後数量を表す

※( )は変更後数量を表す

※( )は変更後数量を表す

[illegible]

※( )は変更後数量を表す

※HPPE φ 75併設



※( )は変更後数量を表す

※HPPE φ 75併設

※( )は変更後数量を表す

※( )は変更後数量を表す

※( )は変更後数量を表す

※( )は変更後数量を表す

※( )は変更後数量を表す

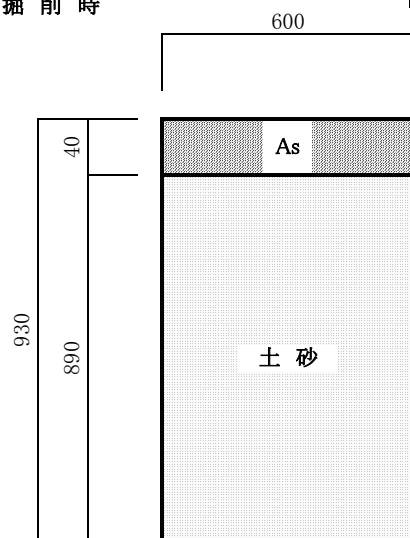
※( )は変更後数量を表す

※( )は変更後数量を表す

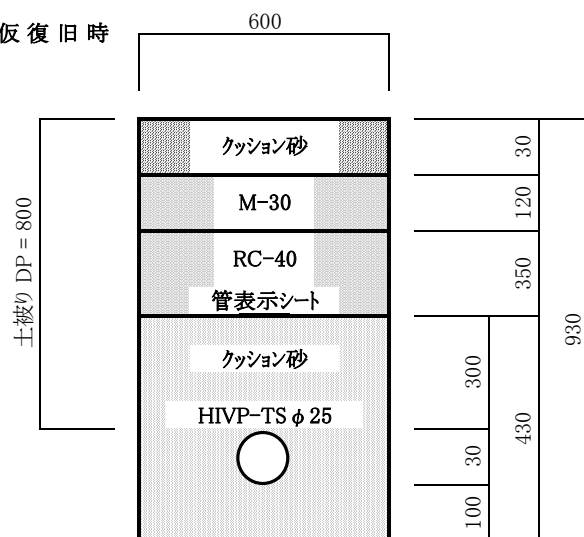
[illegible]

※( )は変更後数量を表す

掘削時



假復旧時

[illegible]

※( )は変更後数量を表す

[illegible]

給水管布設工



## 給水管延長集計表

※上段( )は変更後数量を表す

[illegible]

※ 上段( )は変更後数量を表す

1/1

[illegible]

※ 上段( )は変更後数量を表す

[illegible]

### 給水管土工延長集計表

※( )は変更後数量を表す

[illegible]

# 給水管土工集計表

工 種	形 状 ・ 寸 法	1 宅地内コンクリート舗装道 HIVP-TS φ 20 DP=0.60m W=0.60m L=3.00m	2 宅地内土 HIVP-TS φ 20 DP=0.60m W=0.60m L=3.00m	3 アスファルト舗装道 HIVP-TS φ 20 DP=0.80m W=0.60m L=24.80m	As舗装仮復旧						計	採用値
舗 装 版 切 断 工	As t=15cm以下			49.60							49.60	49.6 m
舗 装 版 切 断 工	Co t=15cm以下	6.00									6.00	6.0 m
舗 装 版 取 壊 し 工	As t=15cm以下			14.88							14.88	15 m2
舗 装 版 取 壊 し 工	Co t=15cm以下	1.80									1.80	1.8 m2
人 力 取 壊 し 工	Co											m3
床 堀 工	機械力	1.04		13.24	0.60						14.88	15 m3
床 堀 工	人力		1.31								1.31	1.3 m3
機 械 埋 戻 し 工	機械力 クッション砂 t=43cm	0.77		6.38							7.15	7.2 m3
機 械 埋 戻 し 工	機械力 RC-40	0.27		5.21							5.48	5 m3
人 力 埋 戻 し 工	人力 クッション砂		0.77								0.77	0.8 m3
ク ッ シ ョ ン 砂	資材のみ		1.03								1.03	1.0 m3
人 力 埋 戻 し 工	人力 発生土		0.54								0.54	0.5 m3
路 盤 工	人力施工 M-30 t=12cm			14.88							14.88	15 m2
コンクリート舗装工	人力舗設 金網なし Co t=15cm	1.80									1.80	1.8 m3
機 械 埋 戻 し 工	機械力 クッション砂 t=3cm			0.45							0.45	0.5 m3
残 土 処 理 工	土砂	1.04	0.77	13.24	0.60						15.65	16 m3
残 土 処 理 工	As塊			0.60							0.60	0.6 m3
残 土 処 理 工	Co塊	0.27									0.27	0.3 m3
建設廃材処分費	As塊			0.60							0.60	0.6 m3
建設廃材処分費	Co塊	0.27									0.27	0.3 m3
濁 水 処 理 費		0.020		0.046							0.066	0.07 m3
アスファルト舗装工	人力舗設 再生密粒As t=4cm				14.88						14.88	15 m2

# 給水管土工計算書

※( )は変更後数量を表す

1 【宅地内コンクリート舗装道】		管 種	口 径	外 径	名 称	形 状 ・ 寸 法	計 算 式	数 量
掘 削 時		HIVP-TS	φ 20	0.03 m	舗装版切断工	Co t=15cm	$2 \times 3.00$	= 6.00 m
		延長		m	舗装版取壊し工	Co t=15cm	$0.60 \times 3.00$	= 1.80 m <sup>2</sup>
		延長	3.00 m		床 堀 工	機械力 t=58cm	$0.60 \times 0.58 \times 3.00$	= 1.04 m <sup>3</sup>
		土 被 り	0.60 m		機 械 埋 戻 し 工	クッション砂 t=43cm	$0.60 \times 0.43 \times 3.00$	= 0.77 m <sup>3</sup>
		掘 削 幅	0.60 m		機 械 埋 戻 し 工	RC-40 t=15cm	$0.60 \times 0.15 \times 3.00$	= 0.27 m <sup>3</sup>
		切 断 数	2 本		路 盤 工			= m <sup>2</sup>
		既設舗装厚	0.15 m		コンクリート舗装工	Co t=15cm	$0.60 \times 3.00$	= 1.80 m <sup>2</sup>
		仮復旧舗装	0.15 m		残 土 処 理 工	土砂		= 1.04 m <sup>3</sup>
		仮復旧路盤	0.15 m		残 土 処 理 工	Co塊	$0.60 \times 0.15 \times 3.00$	= 0.27 m <sup>3</sup>
		山 砂	0.30 m		建設廃材処分費	Co塊		= 0.27 m <sup>3</sup>
		管 下 山 砂	0.10 m		濁 水 処 理 費	t=15cm	$6.00 \times 0.023 \times 0.15$	= 0.02 m <sup>3</sup>
埋 戻 時								

※ 給水管口径が小さい為、埋め戻しによる管控除は行わない。

# 給水管土工計算書

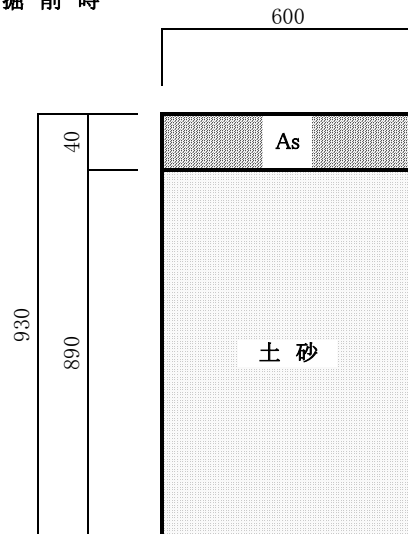
※( )は変更後数量を表す

2 【宅地内土】		管 種	口 径	外 径	名 称	形 状 ・ 寸 法	計 算 式	数 量
掘 削 時	<div> <div>600</div> <div>730</div> <div>土 砂</div> </div>	HIVP-TS	φ 20	0.03 m	舗装版切断工		=	m
			延長	m	人力取壊し工		=	m3
			延長	3.00 m	床 堀 工	人力 t=73cm	$0.60 \times 0.73 \times 3.00$	1.31 m3
			土 被 り	0.60 m	人力埋戻し工	クッション砂 t=43cm	$0.60 \times 0.43 \times 3.00$	0.77 m3
			掘 削 幅	0.60 m	人力埋戻し工	発生土 t=30cm	$0.60 \times 0.30 \times 3.00$	0.54 m3
			切 断 数	本	路 盤 工			
			既設舗装厚	m	コンクリート舗装工		=	m2
			仮復旧舗装	m	残 土 処 理 工	土砂	$1.31 - 0.54$	0.77 m3
			仮復旧路盤	m	残 土 処 理 工		=	m3
			山 砂	0.30 m	建設廃材処分費		=	m3
			管 下 山 砂	0.10 m	クッション砂	資材のみ	$0.60 \times 0.33 \times 3.00 \times 1.33$	1.03 m3
埋 戻 時	<div> <div>600</div> <div>土被り DP = 600</div> <div> <div>発生土</div> <div>クッション砂 HIVP-TS φ 20</div> </div> <div> <div>300</div> <div>300</div> <div>30</div> <div>100</div> <div>430</div> <div>730</div> </div> </div>							

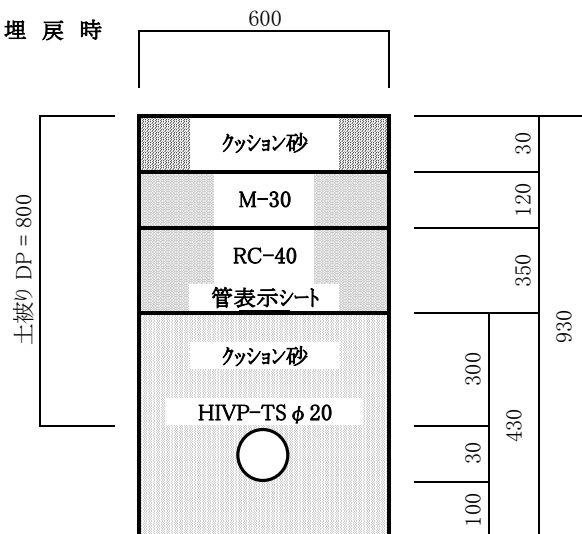
※ 給水管口径が小さい為、埋め戻しによる管控除は行わない。

※( )は変更後数量を表す

## 掘削時

[illegible]

時 辰 埋





※( )は変更後数量を表す

[illegible]